'ふるさとちば"のための政策推進を

9月定例県議会一般質問

川名県議の質問と県執行部の答弁を抜粋して紹介します。

した大規模な地滑りに触れ、崩落した斜面の早期復旧を要望しました。 害状況や復旧の見通しを聞いた川名県議は、南房総市荒川地区で発生 行部に施策を質問しました。今夏の台風・大雨による公共土木施設の被 路ネットワーク、農業・農村の活性化などについて熊谷俊人知事ら県執 市・安房郡選出)は9月定例県議会で登壇し、災害復旧や安房地区の道

り、全国各地で甚大な被 るなど記録的な大雨となっ 福岡県や広島などで8月に 害が発生している。本年も 化・頻発化する豪雨によ ており、洪水災害や土砂災 大雨特別警報が発表され 川名議員 近年、激甚 施設について、さまざまな 河川の護岸などの公共土木 県が管理する道路法面や ら8月の台風・大雨により、 被害が発生した。 本県においても、7月か

まれる。

産を守るとともに、道路に ついては、地元住民の日常 施設は、県民の生命、財 被害を受けた公共土木

害などの甚大な被害も発生

り、早期の復旧が強く望 る上で、不可欠なものであ 生活だけでなく、物流にと など、県民の暮らしを支え ても重要な役目を果たす

7月から8月の台風・大雨 土木施設の被害状況はどう による道路、河川等の公共 そこでうかがうが、本年

通しはどうか。 県土整備部長

路の法面崩落など5箇所、 の被害状況は、県南部を の大雨、8月の台風10号及 いてのご質問ですが、7月 と今後の復旧の見通しにつ 河川の護岸損壊など33箇 中心に、県が管理する道 び大雨による公共土木施設

の完了に努めてまいります。 り、今後は、公共土木施 して、1日も早い復旧工事 設 災害復旧事業等を活用 要な応急対策を実施してお 被災箇所については、必 か。また、今後の復旧の見

南房地域の振興に全力を挙げている川名康介県議(鴨川市・南房総

月から8月の台風等による 発生しています。 公共土木施設の被害状況 合計38箇所で被害が 本年7

市荒川地区ではフ月 川名議員 南房総

> 〒296-0001 鴨川市横渚1481-3 04-7096-5320

の河道が確保され、胸をな 災害が発生するのではと が堰き止められた。崩落十 砂防河川である荒川が崩 の、斜面直下にある市道や 人家に被害はなかったもの 域内で大規模な地滑り災 で下ろした。 迅速な応急復旧により、仮 心配したが、県当局による **荒川の氾濫により新たな** 砂により堰き止められた **落土砂により埋まり、流れ** の大雨により地滑り防止区 **吉が発生した。幸い人命や**

安全な交通を確保するう は、高さが100%にも及 復旧を要望する。 えで崩落した斜面の早期 を守るため、また、市道の れるが、県民の生命と財産 **ぶ長大なものであり、復旧** には時間がかかると思わ 地滑りが発生した斜面

1280

みです。 復旧工事に着手される見込 予算が付き、来年1月から 予算で4億3300万円の りはその後、国の災害復旧 南房総市荒川地区の地滑



登壇し、一般質問を行う川名康介県議

等への支援を円滑に行うた 場合において、自宅療養者 自宅療養者等が急増した 知事 感染拡大により

思うがどうか。

のやり取りに改善点が必要 の実情をよく知る市町村と と聞いている。 について、感染者が急増し たことで、保健所と、地域 イルス感染症の自宅療養者 川名議員 新型コロナウ

可欠であります。

めには、地域の実情を熟知

している市町村の協力が不

報を市町村と共有すべきと 療養者等の支援を充実す るために、感染者の個人情 コロナウイルス感染症の自宅 そこでうかがうが、新型

携して実施することといた 等を、県と市町村とで連 キシメーターや食材の配布 めた健康観察や、パルスオ 個人情報を提供し、自宅 村と覚書を締結した上で 療養者等の安否確認を含 しました。 今後とも、自宅療養者 このため、県では、市

取り組んでまいります。 必要な支援が行われるよう う、市町村と連携して、 等が安心して療養できるよ ランスフォーメーション (DX) 争力を高める「デジタル・ト や価値の創造を行い、その競 れるように、新しいサービス

用戦略では、社会全体の

総務部長 ICT利活

ジネスモデルを変革し、新た タル技術の活用によって、ビ

川名議員 データとデジ

に重要な課題になっている。

なデジタル時代に十分勝ち残

状況はどうか。

県ICT利活用戦略の進捗

そこでうかがうが、千葉

握することとしております。

と認識しております。

川名議員 これまでの進

令和2年度までに、 波及

等を設定し、進捗状況を把

を推進することが、民間だ

けではなく、公共でも非常

みに対して、68の成果指標 体となって推進する取り組 促進するため、県が自ら主 ICTの効果的な利活用を

上回るなど、48の指標等に る取り組みなどが基準値を 策でも、スマート農業に関す

川名康介県議会リポ

相まって、多くの方々に訪 ネットワークが整備される おり、広域的な幹線道路 れていただけるようになって 漁業に適しているだけでは 自然と温暖な気候は、農業、 山と里海に恵まれ、豊かな 完了など道路整備の進展も なく、自然の魅力を活かし た観光の拠点が多数ある。 館山道の全線4車線化の 川名議員 安房地域は里

道128号については交通 地域を広く連結している国 ことによる効果を実感して 一方、南房総地域と外房

> クの強化が必要だと考えて いる。 あり、更なる道路ネットワー 混雑が発生している区間も

流を支える幹線道路に交通 鴨川間の道路は、観光や物 鴨川道路の検討状況はど 県土整備部長 そこでうかがうが、館山 館山

が集中し、市街地を中心に

渋滞が発生しています。

会」において、優先整備区 鴨川間道路交通対策検討 市町などで構成する「館山・ の解消に向け、県及び地元 現在、こうした交通課題

> 理を進めているところです。 通に関する課題の抽出や整 間を検討するため、道路交

将来像などを踏まえ、検討 地域が目指すまちづくりの 県としては、引き続き、

の川谷地先の整 備状況はどうか 国道410号 県土整備部長

く屈曲している 道路の幅員が狭 の中央部を縦断 ことから、安全 あり、南房総市 川谷地先では する幹線道路で は、南房総地域 で円滑な交通を

けて、館山・鴨川道路の早期 具体化に取り組んでいただ ただき、半島性の克服に向 くよう要望します。 町と議論を進めてい 川名議員 地元市

川名議員 国道410号

議場の自席

間目標の未達成や基準値を ど20の指標等において、中 関係する年間の紙使用量な より一層の推進が必要である 下回るものがあることから、 おいて進展が見られました。 一方で、ペーパーレス化に 用した業務効率化や働き方

応していくことが必要です。 く変化しており、的確に対 どにより、社会環境は大き や新型コロナウイルス感染症な ように取り組んでいくのか。 捗状況を踏まえ、今後どの 知事 デジタル技術の進展 現に取り組んでまいります。

成しており、その他の個別施 用者数などが中間目標を達 テレワークやWeb会議の利 効果の高いプロジェクトでは、

> ともに、デジタル技術を活 よるDXに関する研修など 職員の意識改革を進めると 職を対象としたオンラインに このため、県では、管理

関係団体など多様な主体と 進するため、市町村、企業 の恩恵を実感できる社会の宝 も連携し、誰もがデジタル化 社会全体のDXを着実に推 こうした取り組みに加え

1・7*** がの現道拡幅事業

を深めてまいります。

南側の0・7*点に区間にお います。 交渉に着手することとして 詳細設計を完了させ、用地 いては、今年度、構造物の 区間が完成しており、残る

進め、事業を推進してまい ります。 ながら、残る用地の取得を ご理解とご協力をいただき 引き続き、地元の皆様の

で、交通安全上の問 川名議員 狭隘

を実施しています。 これまで、北側の1世以

ない。この部分の改良を強 題もあり、改良が進んでい 川市八丁地先は、土地の問 く要望する。 超がある国道410号の

県道和田丸山館山線

路改良工事を実施してい

道路改良正事実施 見池之内地先

たところから道路改良工事

まとまった用地が確保でき

また、池之内地先では、

を進めており、今年8月に

は、東側の0・3音気が完

山館山線の整備状況はど 川名議員 県道和田丸

成したところです。

い南房総市沓見地先の1 通しが悪く幅員も十分でな 行っているところです。 0 * 以で、現道拡幅事業を 3 * 以、池之内地先の1・ 丸山館山線については、見 **県土整備部長** 県道和田

ります

進め、事業を推進してまい

ながら、残る用地の取得を

こ理解とご協力をいただき

今後とも、地元の皆様の

完成しており、現在、 これまでに0・4 きどが ら順次事業を進めており、 く0・4歳がについて、道 沓見地先では、西側か

良の検討を行うよう要望 同様、東西を横断する幹 狭隘であることから、改 も、鴨川市区間が非常に 緑道路の県道鴨川富山線 和田丸山館山線と 川名議員

確保するため

こととしています。 改革に取り組み、行政サー ビスの利便性の向上を図る り、このような農業・農村 を有しており、将来にわた の保全等、さまざまな機能 か、水源の涵養や自然環境 に取り組んでいるのか。

修作業などへの助成を行って 地の草刈りや用排水路の補 域住民などが共同で行う農 等を活用して、農業者や地 そこで県では、国の交付金

取り組んでまいります。

機能維持に、県はどのよう 村は、食料の安定供給のほ 農林水産部長 農業や農 川名議員 農業・農村の が著しい中山間地域では集 落活動を推進する指導員を います。また、農業者の減少 配置し、地域住民活動の担 い手育成に努めています。

の持つ多面的機能を維持し 関する情報発信を強化し、 などにより、農村の活性化に の魅力に直接触れ、農林水 では、都市住民が農山漁村 交流人口の拡大を図ること 産業への理解を深める交流拠 直売所や農業体験施設など す。今後は、これらの施設に 点としての機能を有していま さらに、県内に多数ある

ていく必要があります

配年度400 立方

はどのように行っているのか。 生産状況はどうか。 また、県有林からの木材の 川名議員 県有林の管理

刈りを行い、それ以降は適 後5年目までは計画的に下 る経営計画に基づき、植栽 は、5年ごとに策定してい 植栽を行うという手順で管 施し、50年目以降に伐採し、 宜、間伐等の保育作業を実 農林水産部長 県有林で

を行い、持続的な木材生産 された木材の量は、約 今後も、効率的な森林管理 400立方景となっています。 昨年度、県有林から生産

理を行っています。

に取り組んでまいります。